

目次

最新情報	1
ドライバーのインストール時の注意点	1
インストールについてよくある質問と回答 (FAQ)	1
Windowsのインストールについて	1
WindowsまたはMac OSのインストールについて	1
Cubase LE4について	1
取扱説明書追加	2
新機能	2
Windows ドライバー	2
Mac OS X ドライバー	2
既知の不具合	3
Windows ドライバー	3
Mac OS X ドライバー	4

最新情報

本機のドライバー／ファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のドライバー／ファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) にてご確認ください。

ドライバーのインストール時の注意点

新規ドライバーをインストールする場合は、必ず古いドライバーを削除してから新しいドライバーをインストールしてください。

インストールについてよくある質問と回答 (FAQ)

Windows のインストール

本機をパソコンに接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザードが表示され、ドライバーのインストールができません。インストール方法が間違っているのでしょうか？

《ハードウェアの追加ウィザード》を閉じ、本製品の接続を外してください。本製品を接続する前に、あらかじめドライバーをインストールする必要があります。製品に同梱されたCD-ROMを挿入すると、ドライバーをインストールするためのメニューが自動的に表示されます。《Install M-164UF Driver》を選択して、スクリーンの上の指示に従ってください。TASCAMのウェブサイトからドライバーをダウンロードした場合は、ZIPアーカイブを解凍して《setup.exe》を実行し、スクリーンの指示に従ってください。

インストールCD-ROMをウィンドウズパソコンに挿入しましたが、ドライバー・インストール・メニューが表示されません。どうすればメニューを始めることができますか？

CD/DVDドライブの自動再生の設定がパソコンで無効にされていた可能性があります。ウィンドウズ・エクスプローラーでCD-ROMを開いて、《Autorun Menu.exe》というファイルをダブルクリックすることによって、手でインストールメニューを始めることができます。

Windows または Mac OS X のインストール

ファームウェアとドライバーのどちらを先にインストールした方がよいのでしょうか？

最新のドライバーを先にインストールし、それからファームウェアをアップデートしてください。

製品のファームウェアは、どうやってアップデートするのでしょうか？

タスカムウェブサイトから最新のアップデートアプリケーションをダウンロードし、それを起動してください。製品をパソコンに接続し、電源を入れアップデートアプリケーションが検知されるのを待ちます。それから《write firmware》ボタンを押してください。

Cubase LE4 について

Cubase LE4の最新版Hotfixを、以下のSteinberg Media Technologies GmbH社のウェブサイトから入手してお使いください。

<http://japan.steinberg.net/index.php?id=787&L=1>

取扱説明書追補

マルチ・クライアント動作

Windows環境では、本機を使用して異なるドライバープロトコルを使う複数のオーディオアプリケーションの出力を同時にミックスすることができます。例えば以下のようなシステム構成が可能です。

- 例：● ASIO App (Ableton Live) + WDM App (SONAR) + GSIF2 App (GigaStudio)
● ASIO App (Ableton Live) + MME App (iTunes) + GSIF2 App (GigaStudio)

新機能

Windows ドライバー

V2.01 (Windows 64ビット版専用) の追加

- Windows 7 (64ビット版) に対応しました。

注意

本ドライバーは、Windows 32ビット版にはお使いになれません。

Windows 32ビット版をお使いの方は、V2.00 (32ビット版専用) ドライバーをお使いください。

V2.00 (Windows 32ビット版専用) の追加

- Windows 7 (32ビット版)、Windows Vista SP2 (32ビット版)、Windows XP SP3 (32ビット版) に対応しました。

注意

必ず上記サービスパックと一緒にお使いください。

本ドライバーは、Windows 64ビット版にはお使いになれません。

Windows 64ビット版をお使いの方は、V2.01 (64ビット版専用) ドライバーをお使いください。

V1.00の追加

- Windows XP 64ビット版とWindows Vista 64ビット版に対応しました。

注意

Windows 64ビット環境では、多くのメモリ空間とプロセッサの能力が要求されます。特にオーディオの音が途切れるなどの問題がある場合は、M-164UFのコントロールパネルのオーディオパフォーマンス設定や使用しているDAWなどのオーディオアプリケーションの設定などを調整して個々の環境に最適な設定を見つける必要があります。

Mac OS X ドライバー

V2.00の追加

- Mac OS X Snow Leopard (32ビット版) に対応しました。
(64ビットカーネルモードには対応していません)

注意

Mac OS X v10.5.8またはv10.6以上をお使いの方は、V2.00ドライバーをお使いください。

Mac OS X v10.3.9またはv10.4.11をお使いの方は、V1.13ドライバーをお使いください。

既知の不具合

Windows ドライバー

V2.00の不具合

- アンインストール時に背景に数種の警告表示が見えることがありますが、動作には影響しません。

V1.00の不具合

- Cubase/Cubase LE4において、96kHzプロジェクトを一旦終了し、その状態から96kHzのプロジェクトを開くと内部的には、サンプリング設定が44.1kHzに設定され音声信号がミュートされます。この場合は、Cubaseメニューのデバイス／デバイス設定／VSTオーディオシステムの（リセット）キーを押すことで正しく設定され音声の有効になります。
- SONAR6.2 ASIOモードのとき、SONAR側でサンプリング設定を変更してもM-164UFコントロールパネル内のサンプリング周波数表示が変わりませんが、内部的には設定が有効になっています。
- SONAR6.2 ASIOモードのとき、US-122L/144、US-1641のドライバーがインストールされていると、M-164UFが認識できません。SONAR使用時は、US-1641、US-122L/144のドライバーを同じパソコンにインストールする事をお避けください。
- nVIDIA USBコントローラーチップ搭載のパソコンは、USB2.0上のオーディオストリーミングの性能が十分に得れず、音質が劣化します。レイテンシーを高く設定するか、nVIDIA以外のUSB2.0カードをご用意ください。
 - お使いのパソコンに使われているコントローラーチップを確認する方法：
 - 1) スタート → コントロールパネル → システム
 - 2) 《ハードウェア》タブをクリックし、《デバイス・マネージャー》ボタンをクリックします。
 - 3) 《Universal Serial Bus Controllers》の隣の《+（プラス）》アイコンをクリックします。
 - 4) インストールされているUSBコントローラーのチップ製造業者が表示されます。
- WDMオーディオ・アプリケーション（iTunes、Windows Media Player）が動作中に、本機のサンプルレートを変えると、オーディオの再生ピッチが正常でなくなります。この場合は、WDMオーディオ・アプリケーションをいったん終了してから再び立ち上げてください。再生ピッチが正常になります。
- 本機をWindows Media Playerで使う場合は、サウンドとオーディオデバイスコントロールパネルのオーディオタブ内にある音の再生の既定のデバイスを本機に設定してください。Windows Media Player内からは、オーディオインターフェースのコンフィギュレーションを行わないでください。
- ごくまれに、ASIOモードに設定されたSONARを起動するとマザーボードに搭載されたオーディオデバイスのエラーが表示されることがあります。この問題を回避するには、マザーボードのオーディオデバイスをBIOS設定で無効にしてください。
- Windows Vistaにおいて、録音開始位置が数ミリ秒ずれる場合があります。
- SONAR使用時に24ビットプロジェクトで作成したオーディオデータが16ビットデータで作成されてしまう場合があります。
- Windows XP 64 SP1で、SONAR 6.2.1使用時、サンプリング周波数が44.1k/48kHzでオーディオ・ドライバーにASIOを使用している時に、88.2k/96kHzのプロジェクトをロードし再生を行うと、エラーメッセージが出て正常な再生が行えない場合があります。これを回避する方法は、下記の通りです。
 - 1) SONARを一旦終了し、再度Sonarを起動します。
 - 2) 再起動後、プロジェクトをロードしない状態で、オーディオ・ドライバーにWDM/KSを選択します。
 - 3) SONARを終了し、再度Sonarを起動します。
 - 4) 再起動後、サンプリング周波数が88.2k/96kHzのプロジェクトをロードします。ASIO使用時、サンプリング周波数を44.1k/48kHzから88.2k/96kHzに変更する場合は、必ずオーディオ・ドライバーとしてWDM/KSを一度選択し、そののちにASIOの88.2k/96kHzを選択するようにしてください。

Mac OS X ドライバー

V2.00の不具合

- スリープ状態から復帰後、デバイス認識ができず、オーディオインターフェースの再接続（USB接続）、もしくはパソコンの再起動が必要になることがあります。

V1.00の不具合

- サンプルレートを44.1k/48kHzから88.2k/96kHzに切り換え
た際、ノイズ防止のために必要に応じてオーディオバッファサイズを増やしてください。オーディオバッファサイズを調整する機能は、ほとんどのDAWに搭載されています。
- 本機をシステムサウンドに使用できない場合があります。
- Garage Bandは、44.1kHz以外のサンプルレートでは正常に動作しない場合があります。
- Native Instruments社のソフトシンセサイザー（B4、Pro-53 など）が単体のシンセサイザーとして動作しているとき、バッファサイズ・スライダーが正しく動作しません。
- サンプリング周波数が88.2k/96kHz時に、録音開始位置が数ミリ秒ずれる場合があります。